

【英語】

～ClassPad.net の同時編集機能・授業支援機能を活用する～

日本と外国の文化について考える授業

分詞構文を題材として、自身の意見を論理的に表現する手法を身につける。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：テーマについて主体的に調べ、意見を論理的に表現できるようにする。

生徒向けの目標：分詞構文の仕組みについて学び、それを用いて論理的な英文を書く手法を身につける。また、日本と外国の文化の違いや、多様な考え方があることを知る。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・ **プリント削減** : これまで印刷して配布していたプリントを、各種ふせんを利用したデジタルな配布に代えられる。
- ・ **生徒の理解促進** : 同時編集機能や EX-word 機能、リンクふせんを利用した動画視聴などにより、必要な情報を手軽にわかりやすい形で提供することができる。
- ・ **学習プロセスの把握** : 複数の提出機会を設けることにより、生徒の学習プロセスを把握し、管理に役立てることができる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【授業の概要】

- ・「チップ文化」について知る。
- ・「分詞構文」の仕組みを理解しよう。
- ・「分詞構文」を活用して、「日本と外国の文化の違い」について自分の意見を述べてみよう。

概要の説明

授業で扱う「異文化理解」というテーマと、文法事項の簡単な紹介を行う。

step2

【「チップ文化」とは？】

これから、「チップ文化」にまつわる動画を1本視聴します。

以下のポイントを意識しながら視聴しましょう！

- ・「チップ文化」とはどういうものか？
- ・「チップ文化」は、顧客と労働者（従業員）にどのような影響を与えているか？

動画の視聴

日本では馴染みの薄い「チップ」という文化について学習するために、導入となる動画を視聴させる。

YouTube のショート動画「【もしも接客中にチップ制度がなくなったら？】」

(https://www.youtube.com/shorts/h4uL_Ykhreo) の URL を貼り付けたリンクふせんで事前に用意しておき、電子黒板・プロジェクターなどで見せる。

step3

【構文と和訳の確認】
 There is one cultural difference between the United States and Japan. That is the "tipping" system.
 Legally, tipping is voluntary, but if you leave a restaurant without paying the tip, for example, the waiter will get angry and demand to know why you did not tip. Also, depending on what part of the U.S. you are in, the amount you are expected to tip will vary.
アメリカと日本にはとある文化の違いがある。それは「チップ」のシステムである。法律上、チップは任意であるが、例えばチップを払わずにレストランを出ると、ウェイトレスは怒って、なぜチップを払わなかったのかを問われるかもしれない。また、アメリカ内のどの地域にいるかによって、チップとして求められる金額は異なる。

英文の和訳

step2 で動画で見た「チップ」というテーマに関連する英文を読ませる。難しい単語の意味は、英文の近くに提示しておくようにする。
 また、その他にも意味が分からない単語があれば、意味を調べるよう指示する。

事前にテキストふせんを用いて英文を作成しておき、授業支援機能で生徒に共有する。また、重要な単語については EX-word ふせんを作っておき、これも生徒に共有する。その他の意味調べには EX-word ふせんを利用させ、上記のファイルふせん付近に並べさせたり、単語学習用のデジタルノートに保存させたりする。

step4

【文法事項の解説】
 ① Feeling tired, he went to bed early yesterday.
「疲れたので、昨日彼は早く寝ました。」
 →元の形は、
 Because/As / Since he felt tired, he went to bed early yesterday.
(考え方の手順) ①接続詞を削除する。②主節の主語と一致している場合、従属節(接続詞を含む節)から主語を削除する。③従属節の動詞を現在分詞(-ing)に変える。

文法事項の解説

分詞構文を用いた例文を提示して、その仕組みや成り立ち、表す意味について解説する。
 その後、step3 で読ませた英文のうち、分詞構文を含む文がどれかを生徒に当てさせ、出来そうなら解説もしてもらう。

テキストふせんやファイルふせんを利用して事前に作っておいた分詞構文に関するデジタルノートを、授業支援機能を用いて生徒に送信する。その上で、電子黒板やプロジェクターを利用して、大画面で見せながら解説する。

step5

【和文英訳】
接続詞を使わずに、以下の日本語を英文に書き換えてみよう！
 ① 何を言うべきかわからなくて、彼は黙っていたままでした。
 <ヒント> remain
 ② 彼に嘘をつかれたので、私は悲しかった。
 <ヒント> tell, lie
 ③ 天気が許せば、私たちはハイキングに行きます。
 <ヒント> permit, hiking

和文英訳

step4 までに学んだ分詞構文を意識して、和文英訳に取り組ませる。重要な単語は先に意味を提示しておき、その他にも分からない単語があれば、意味を調べるよう指示する。

重要な単語は EX-word ふせんを作っておき、授業支援機能で生徒に送信する。また、その他の単語の意味調べについても EX-word 機能を利用してもらう。

step6

【もっと詳しく調べてみよう！】
接続詞を使わずに、以下の日本語を英文に書き換えてみよう！
 ①手順①
 「チップ文化」について、情報を調べてみよう！
 (例・成り立ち、相場、場面……etc)
 ②手順②
 以下のテーマについて自分の意見を英語で書いてみよう！
 その際、分詞構文を1つ以上盛り込んでみよう！
 → Do you think Japan should introduce the tipping system?
 <ヒント>
 I think ~ / It seems that ~ / First, ~. Second, ~
 gratitude / help workers / service / unpredictable

調べ学習・自由英作文

クラスをグループに分け、チップ文化に関する複数の資料と、英作文のためのテーマを提示する。
 各グループにはまず、資料を参照しながら自身の意見を構築するのに適切な情報を検索してまとめさせる。
 次に、提示したテーマに対して自身の考えを英語で記述させる。その際、学習した分詞構文を用いた英文を1文以上盛り込むよう注意を加える。
 最後にグループ内で各自の英作文を発表させ、意見交換や議論をしてもらう。

チップ文化に関する資料は、URL を貼り付けたリンクふせんを事前に用意して、授業支援機能で生徒に共有する。各自で検索した情報は、グループ代表者にテキストふせんで送信させる。それらを集約したデジタルノートを生徒同士が同時編集機能を用いて編集し、自由英作文を作成する際の参考資料として共有できるようにしてもらう。
 自由英作文は別のテキストふせんに記載させて授業支援機能で回収するとともに、グループ内でも共有させ、意見交換や議論に役立ててもらおう。

step7

【まとめ】



- ・「分詞構文」について、作り方や意味を覚えておこう！
- ・「チップ文化」を調べる過程で分かった、海外の考え方や政治や経済のあり方について、関心を持ち続けよう！

まとめ・宿題

学習内容のまとめ・振り返りとして、分詞構文を用いた英文法問題を何題か出題する。

解答はテキストふせんに記載させ、授業支援機能で回収し、添削・コメントなどを付けて返却する。

step8

【異なる視点から考えてみよう！】

海外から見た「日本特有の文化」には、どのようなものがあるでしょうか？

普段意識する機会が少ない自国の文化について、海外の視点から考えてみましょう！

参考・補足

異文化理解に関して、さらなる興味・関心を引き出すための動画を提示する。

YouTube 動画「ネイティブが驚いた日本特有の文化や習慣」(<https://www.youtube.com/watch?v=lcTgMSXqJk0>) の URL を貼り付けたリンクふせんを、授業支援機能で生徒に共有する。
別の授業時に一緒に視聴してもよい。